

# ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



ネットワーク  
のロゴマーク

▼ふくしま農業女子ネットワークです。「IMO-SHISO  
ワーク(愛称:百葉一輪♡Fモヒート)」と「華穂」の2種  
Ukuがある)情報メンバ類で、爽やかなシンの香りが  
の百目鬼綾子さん(郡山市)が手掛ける青じそジュースを  
使ったカクテルが、同市のホテルハッツ9階の「バー&ラ  
ウンソケット」で味わえ(521)7340へ。



青じそジュースを使  
った「IMO-SH  
ISOモヒート」  
(左)と「華穂」



「献上桃の郷」の誇りを胸に、お  
いしいモモを育てている相原さん



あいはら  
相原 晴美さん(桑折町)

## 「まさか」の人生進む

人生には三つの坂がある。上の坂、  
下り坂、そして、「まさか」。

その「まさか」。長年にわたった  
結婚生活を卒業し、生まれ故郷であ  
る桑折町に戻ったのが3年前。実家  
は代々モモやリンゴ、コメなどの農  
業を営んでおり、子どもの頃から農  
作業の手伝いをするのが当たり前で  
した。出戻った当初は、毎日涙に暮  
れて何もやる気の起きなかった私。

ある日、母から白菜の種まきを頼ま  
れました。やっとまいた種が発芽し、  
ぐんぐん大きくなっていく姿を見る  
と、不思議と自分の中に元気が満ち  
ていくのが分かりました。

それからは頻繁に畑に出て野菜や  
コメの収穫を手伝い、農業にハマッ  
ていきました。そして「農業で生計  
を立てていきたい」と本気で思う  
ようになりました。ついに今年度、

県農業総合センターの研修生とな  
り、果樹農家としての一歩を踏み出  
しました。現在は福島市にある県果  
樹試験場で果物の栽培や品種改良、  
病害対策などを学んでいます。

桑折町は「献上桃の郷」として町  
を挙げてモモ作りに励んでいます。  
モモの木は水はけの良い土地を好み  
ます。特に私の住む伊達崎(だんざ  
き)という地域は阿武隈川沿いにあ

るため、一大産地です。父をはじめ、  
先達(せんだち)が培ったモモの産  
地としてのプライドを引き継ぎ、発  
展させていく。これからの私の使  
命だと感じています。

「まさか」の第二の人生。私の大  
好きな故郷で「献上桃の郷 桑折町」  
の名に恥じない、おいしい立派なモ  
モを作ります。皆さまの食卓に彩り  
を加えていきたいです。

◆プロフィール◆ 桑折町でモモやコ  
メ、リンゴ、スモモ、アンズなどを栽  
培。両親と3匹のネコ(1匹は家出中)  
と暮らす。看護師として長年働いた経  
験を生かし、農業・食と医療のコラボ  
も考え中。